



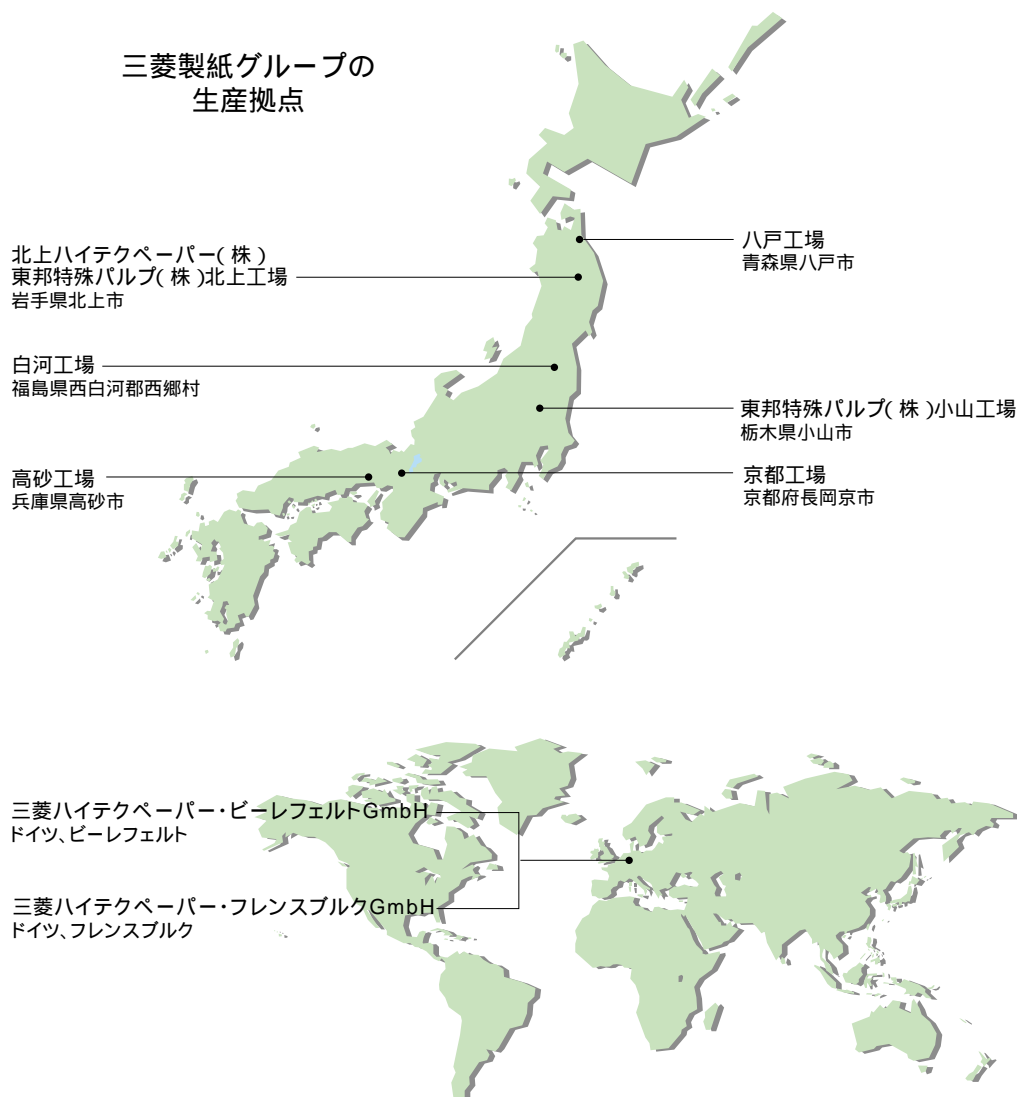
## 中長期目標と環境データ

三菱製紙グループでは、項目5、7～10に中長期の環境目標を設定しております。  
 なお、項目の1～8は、高砂、京都、八戸、白河、北上ハイテクペーパーの5工場合計を対象としています。  
 (連合会目標)では、日本製紙連合会が設定した目標から算出した数値を( )内に示しています。

中長期の環境目標

	1990年度	1996年度	1999年度	2005年度	2006年度	2010年度 当社目標 (連合会目標)	2012年度 当社目標	
1 化石エネルギー消費量 1000GJ	13,641		17,053	14,819	14,446			
2 化石エネルギー原単位 MJ/t	13,909		16,067	13,863	13,335	(12,101)		(1990年の87%)
3 化石燃料消費量 kL	241,989		367,366	330,557	328,058			
4 化石燃料原単位 L/t	247		346	309	303			
5 CO <sub>2</sub> 排出量 t-CO <sub>2</sub>	889,934		1,301,265	1,129,651	1,092,982	1,041,012		1999年の20%削減
6 CO <sub>2</sub> 排出原単位 t-CO <sub>2</sub> /t	0.907		1.226	1.057	1.009	(0.816)		(1990年の90%)
7 廃棄物最終処分率 %				1.4	1.7	0.3		
8 クロロホルム大気放出量 t		89.3	63.0	23.1	19.6	17.9		1996年の80%削減
9 海外植林面積 ha	109		12,923	24,981	25,066		44,000	
10 自社植林木チップ割合 %					13		54	輸入Lチップに占める割合

### 三菱製紙グループの 生産拠点



## 工場別環境データ

		2004年度	2005年度	2006年度	
製品販売量	t				
	5工場合計	1,061,913	1,066,615	1,083,300	+ 1.6%
CO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub>				
	5工場合計	1,171,306	1,129,651	1,092,982	3.2%、1999年比84.0%
	八戸工場	892,956	884,438	866,788	
	高砂工場	154,346	124,892	110,953	
	京都工場	31,260	27,966	27,537	
	白河工場	11,269	11,385	10,678	
	北上ハイテクペーパー	81,476	80,970	77,027	
CO <sub>2</sub> 排出原単位	t-CO <sub>2</sub> /t				
5工場合計	1.103	1.057	1.009	4.5%	
化石エネルギー消費量	千GJ				
	5工場合計	15,118	14,819	14,446	2.5%
	八戸工場	10,448	10,070	10,293	
	高砂工場	2,407	2,282	2,191	
	京都工場	609	546	549	
	白河工場	197	202	191	
	北上ハイテクペーパー	1,482	1,445	1,496	
化石エネルギー原単位	MJ/t				
5工場合計	14,260	13,863	13,335	3.8%	
SO <sub>x</sub> 排出量	Nm <sup>3</sup>				
	八戸工場	119,771	113,595	86,846	
	高砂工場	4,684	2,993	0	
	京都工場	2,237	1,955	1,538	
	白河工場	9,756	9,578	8,496	
	北上ハイテクペーパー	183,968	117,719	124,547	
NO <sub>x</sub> 排出量	Nm <sup>3</sup>				
	八戸工場	763,396	736,632	692,558	
	高砂工場	85,670	64,601	60,097	
	京都工場	5,523	4,350	3,451	
	白河工場	4,242	3,809	2,932	
	北上ハイテクペーパー	213,811	266,280	275,981	
用水使用量	千t				
5工場合計	132,376	125,182	121,352	3.1%	
用水原単位	t/t				
5工場合計	124.7	117.4	112.0	4.6%	
COD	t				
	八戸工場	6,035	6,254	6,360	
	高砂工場	200	194	183	
	京都工場	42	29	36	
	北上ハイテクペーパー	1,231	1,240	1,137	
BOD	t				
	高砂工場	224	261	224	
	京都工場	38	27	26	
	白河工場	54	49	48	
	北上ハイテクペーパー	989	953	899	
廃棄物有効利用率	%				
5工場合計	68.1	73.6	76.4	+ 2.8%	
廃棄物最終処分量	%				
5工場合計	1.4	1.4	1.7	0.3%	

(1) CO<sub>2</sub>排出量

2006年度より新たにCO<sub>2</sub>削減の取組み(目標:2010年度中に1999年度CO<sub>2</sub>排出量の20%削減)をスタートしました。2006年度CO<sub>2</sub>排出量の実績は、2005年度に比べ3.2%減少し、1999年度比では16.0%の削減となりました。高砂工場でのボイラー燃料転換(2005年10月)による効果および各工場における省エネルギー成果によるものです。京都工場においてもボイラー燃料転換(2006年12月)を実施しており、その効果が出始めています。八戸工場においても現在進行中のパルプ増産起業により、CO<sub>2</sub>の大幅な削減効果が期待されています。

## (2) 化石エネルギー原単位

日本製紙連合会では、自主行動基準として、2010年における目標値を1990年度比13%削減に設定しました。当社の2006年度化石エネルギー原単位は、対前年では3.8%向上していますが、1990年度比では7.2%の削減となっており、業界目標は未達の状況です。目標達成に向けて、省エネの取組みを強力に推進してまいります。

## (3) 廃棄物削減

各工場においてはゼロエミッションの取組みを進めています。有効利用率は、北上ハイテクペーパーでの活用が増え、全体としては2.8%向上しました。一方、当面の目標を0.3%以下と設定している最終処分量は、残念ながら、ここ数年1%を超えています。2006年度は、八戸工場での最終処分量が増えて、0.3%低下しました。